

第2学年1組 算数科学習指導案

令和7年6月26日(木) 第3時限 2年1組教室

1 単元 100をこえる数 (12時間完了 本時 8/13)

(1) 目標

- ①1000までの数の読み書きや位取り、順序、数の比較の仕方を理解することができる。また、等号や不等号の使い方を理解することができる。 (知識・技能)
- ②1000までの数について、同じ大きさの集まりにまとめて数えたり、読んだり書いたりすることができる。また、等号や不等号を用いて大小関係を式に表すことができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- ③1000までの表し方と大小の比較を考える活動を通して、自分の考えをもち、友達の考えを聴いて、考えの違いや似ているところを見つけることができる。 (仲間と関わる力)

(2) 目標に近づくための指導構想

- ・単純な計算問題はスムーズにできていても、既習事項を使って応用問題を解いたり、自分の考えを絵や図、言葉で表現したりすることが苦手な児童もいる。
- ・答えを求めて満足してしまい、他の考え方があることに気付かずに考え終えてしまう児童もいる。
- ・算数が好きな児童が多く、意欲的に取り組むことができるが、問題の意図や言葉の意味が理解できず、手が止まってしまう場面が多く見受けられる。

2 本時の学習

○児童の活動 ●教師の支援



| | 手だて | 時間 |
|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1 100をこえる数をくふうして数えよう。 ○絵を見て、10や100ずつまとめて星の数を数える。 ○100をこえる数の読み方を知る。 | ●工夫して星の数を数えられるように、教科書に載っている吹き出しに注目し、数えるように声掛けをする。 | 1 |
| 2 三百六十五という数についてしらべよう。 ○3位数を数字で表したり、3位数の構成を説明したりする。 | ●位取り板を用意し、計算棒を置く活動をする。で、位の違いを捉えやすくする。 ●百の束を置く位を百の位と知らせる。 | 1 |
| 3 10のたばがない数についてしらべよう。 ○空位のある3位数の表し方や仕組みを考える。 | ●空位を表す0の意味を捉えるために、数カードを並べて、仕組みを理解しやすくする。 | 1 |
| 4 10がどこにあるかをもとに数をしらべよう。 ○お金の模型を用いて、10がいくつ分か考える。 | ●お金の模型を操作して、100円玉1個が10円玉10個になることに着目できるようにする。 | 1 |
| 5 999のつぎの数についてしらべよう。 ○100のまとまりを使って、1000という数について知る。 ○1000をいろいろな見方で表してみる。 | ●1000がどのような数か知るために、第1時の授業を思い出し、星の数を工夫しながら数えるように促す。 ●数直線を用いて、数の大きさを捉えやすくする。 | 2 |
| 6 3けたの数の大きさの比べ方を考えよう。 ○3つの数を提示し、数の大小を比較する。 ○考え方をチームで聴き合う。 | ●3つの数の大きさを比較しやすくするために、必要に応じてヒントカード・位取り板・数カードを用いて考えるように促す。 | 2/2 本時 (8/13) |
| 7 100をこえる数の計算をしよう。 ○等号・不等号を使って、大小関係を式に表す方法と読み方を知る。 ○お金の模型を用いて、計算の方法を考える。 | ●大小の比べ方を等号・不等号を用いて表すことができるように、等号・不等号の使い方をおさえる。 ●10のいくつ分かを捉えられるように、お金の模型を用いて計算する活動を取り入れる。 | 5 |



目指す子供の姿

- ・自分の考えをもち、チームで伝え、友達の考えを聴くことで、多様な考え方に触れ、自分の考えを見直そうとすることができる。
- ・1つの考え方に固執しないで、様々な解き方があることを知り、算数の面白さに気付くことができる。
- ・問題の意図や意味を理解し、算数の授業を意欲的に楽しんで取り組むことができる。

(1) 目標

- ① 十進位取り記数法の仕組みをもとに考え、3位数の大小を比較することができる。(思考・判断・表現等)
- ② チームで自分の考えを伝え、友達の意見を聴き、3位数の大小を比較する自分なりの方法を説明することができたか。(仲間と関わる力)

(2) 展開

| | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学びに向かう準備 | 学習課題 3つのなぞの数を大きいじゅんにならべて、そのなぞときをせつめいしよう。 ～かいとうキッドのちょうせんじょうより～ |
| | 予想される子供の反応 ・位をそろえて考えれば分かるよ。 ・百の位の数字を比べたらいいね。 ・2つずつ比べると考えやすいね。 ・100のまとまりがいくつあるか考えるといいね。 |

○児童の活動 ●教師の支援

| | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学び方を選択する・学びに向かう | 【活動1】 なぞの数の大小を、4つの方法から選択し考える。 | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 33%; padding: 5px;">ヒントカードをもらって考える ○ヒントカードを基に、数の大小の比べ方を考える。 ●4種類のヒントを用意し、順番に考えていけば、答えを求められるようにする。</td><td style="width: 33%; padding: 5px;">ひょうをつかって考える ○位取り表に数字を書き込み、数の比べ方を考える。 ●位取り表に書き込んでも、説明の仕方につまずいている児童には、百の位や十の位に注目するよう伝える。</td><td style="width: 33%; padding: 5px;">図やことばをつかって考える ○自分でワークシートに考え方を図や言葉を用いて書いて考える。 ●考え方の見当がつかない児童には、ヒントカードや位取り表を用いて行うように促す。</td></tr></table> <p style="text-align: center;">●終わった児童には、類似問題や発展問題に取り組むように声を掛ける。</p> | ヒントカードをもらって考える ○ヒントカードを基に、数の大小の比べ方を考える。 ●4種類のヒントを用意し、順番に考えていけば、答えを求められるようにする。 | ひょうをつかって考える ○位取り表に数字を書き込み、数の比べ方を考える。 ●位取り表に書き込んでも、説明の仕方につまずいている児童には、百の位や十の位に注目するよう伝える。 |
| ヒントカードをもらって考える ○ヒントカードを基に、数の大小の比べ方を考える。 ●4種類のヒントを用意し、順番に考えていけば、答えを求められるようにする。 | ひょうをつかって考える ○位取り表に数字を書き込み、数の比べ方を考える。 ●位取り表に書き込んでも、説明の仕方につまずいている児童には、百の位や十の位に注目するよう伝える。 | 図やことばをつかって考える ○自分でワークシートに考え方を図や言葉を用いて書いて考える。 ●考え方の見当がつかない児童には、ヒントカードや位取り表を用いて行うように促す。 | |
| 聴き合う学び合い | 【活動2】 3つの数の大小の比べ方をチームで聴き合い、違う考え方を取り入れたり、共通する考えに共感をもったりする。 ○自分の方法ややり方について、その考えに至る理由を挙げながら話す。 ○友達の考えを聴き、共通点や違いは何かを考え、伝え合う。 ●類似の練習問題は、友達の考えを踏まえて行うように声掛けをする。 ●疑問や不明点があれば質問して良いとし、友達が理解できるまで説明するように伝える。 | | |
| | 【活動3】 振り返り ・友達の意見を聞いて、いろいろな考え方があった。 ・大きい位から順番に考えたら、隠れている数があっても、大きい順に並べることができた。 ●振り返りシートの記述が難しい児童には、表情マークと感想でも良いことを個別に伝える。 | | |
| 自分を振り返る | | | |

(3) 評価

- ① 3位数の大小の比較の仕方を考えたり説明したりすることができたか。
(活動1、2の様子・ワークシートの内容から)
- ② 考えを聴き合うことで、共通点や相違点に気づき、いろいろな考え方があったことを知って理解を深めることができたか。
(活動2の聴き合い、活動3の振り返りの様子から)